

議員定数等調査検討に関する小委員会（第4回）

平成27年2月9日（月）午前10時

於：第1委員会室

○ 調査事項

1 地方分権と地方議会の在り方に言及した国の審議会の答申等について

委員の共通認識のため、総務省による第28次地方制度調査会答申（平成17年12月）及び第29次地方制度調査会答申（平成21年6月）並びに地方行財政検討会議（平成23年1月26日）における地方議会の在り方や地方自治法の抜本改正についての考え方の取りまとめ内容を確認した。

2 本市議会での議員定数について

- 1) 本市の人口（面積）の推移
- 2) 本市の行政区・学区等との関係
- 3) 本市の現状及び課題並びに将来の予測及び展望の観点から
- 4) 常任委員会数と委員数
- 5) 議員選挙における立候補者数からの視点
- 6) 議員定数と予算経費によるアプローチ
- 7) 専門的知見による定数検討事例
- 8) 執行部における附属機関の設置等による市民意見聴取の視点

以上の視点・観点により議員定数の在り方について自由討議を行った。

3 本市議会議員定数の在り方について

これまでの確認、調査検討結果等を踏まえ、適正な議員定数の在り方を検討する上での論点を整理した。

また、適正な議員定数の検討を深めるため、具体的に、現状維持の「24人」、2人削減の「22人」、4人削減の「20人」の3つの定数に絞り、整理した論点ごとにさらに検討を加えるとともに、それぞれの定数とした場合の議会（委員会）運営や議会（委員会）活動の比較等を行うこととした。

4 次回の日程について

次回の小委員会開催日程を決定した。